

## 概要・プログラム

2月7日（日） 苫小牧市科学センターからの宇宙教育オンラインセミナー

JAXA宇宙教育センターと公益財団法人日本宇宙少年団（YAC）は、18歳以上の方で、これから宇宙教育活動を行いたい方、宇宙教育における基礎知識を学びたい方を対象に宇宙教育指導者セミナーを全国で開催しています。

今日の新型コロナウイルス感染症対応を深く考慮し、従来のインタラクティブな持ち味を生かしながら、新たなタイプのセミナーをオンラインで実施しています。

今回は第7回目で、苫小牧市科学センターよりお届けします。苫小牧市科学センターは、旧ソ連の宇宙ステーション「ミール」を展示していることで有名です。ホンモノの予備機です。

この宇宙ステーションは、苫小牧の地に宇宙教育を根付かせています。長年活発に活動している宇宙教育活動団体の指導者の方々を講師に迎え、「ミール」に因んで開発された宇宙教育教材の一端も紹介します。オンラインでの教材実習も試みます。オンライン活動を計画している宇宙教育活動団体の参考にしてください。

また苫小牧には、JAXAの「だいち2号」衛星の校正用施設が運用されていた地です。衛星データ利用について先駆的な実践も重ね、慣れ親しんでいます。短時間しか設定できませんが衛星データ活用にチャレンジしましょう。

なお、オンラインセミナー実施前日に試験放映をしますので、受信チェックができるようにいたします。ご質問にも事務局が対応いたします。（受講受付後詳細をお伝えします）

### <主催>

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙教育センター  
公益財団法人日本宇宙少年団

### <開催日時>

2021年2月7日（日）

9:00～12:20 受信連絡受付 8:30～8:50

### <配信方法>

YouTubeのライブ配信機能を利用した限定公開配信（申込者のみにURLをお伝えするライブ放送で、アーカイブ放送は予定しておりません。）

### <参加対象>

高校生を除く18歳以上の方で、宇宙教育に関心がある、またはすでに宇宙教育教材等を活用して青少年育成活動を実践している方。

### <募集定員>

90名

### <募集案内>

本案内「その他4」を参照ください

<予定プログラム>

時間	プログラム / 内容詳細
9:00～9:05	<p><b>開講式</b> <b>始まりの連絡</b></p> <p>日程確認、諸連絡やお願い</p>
9:05～10:05	<p><b>講座1：説明</b> <b>「宇宙教育とは」</b> <b>-日本宇宙少年団苫小牧分団活動紹介を通して-</b></p> <p>宇宙教育の全体像とセミナーテキストを、具体的な宇宙教育活動を紹介しながら説明します。セミナーテキストも紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本宇宙少年団は「2020年宇宙の旅」と名付けた中期計画を全国の分団と展開中です。その活動の具体を紹介します。</li> <li>活動の拠点である苫小牧市科学センター「ミール」も紹介します。</li> <li>・宇宙ステーション「ミール」は、宇宙教育の題材そのものです。その教材性について説明します。</li> </ul>
10:10～10:55	<p><b>講座2：講義・実習</b> <b>「ロボットアーム」の教材開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAXA/YAC活動教材集に掲載している「ロボットアーム」を、教材開発者とオンラインで実習しましょう。</li> <li>・時間の都合上実習は「アーム先端部だけを紙コップで作る」に限定しましょう。</li> <li>・実習に必要な材料は予めお伝えしますので、予めご用意下さい。</li> </ul>
11:00～12:20	<p><b>講座3-1：実習</b> <b>「20分で衛星データ利用を始めましょう」</b></p> <p>衛星データ分析ソフトEISEIの基本操作を20分でチャレンジします。苫小牧周辺をランドサット8データで調べます。</p> <p>講座後に受講者の方が継続的に衛星データ利用プログラムに関わっていただくように用意した資料を紹介します。</p> <p><b>講座3-2：実習</b> <b>「衛星データ利用した例会の紹介」</b></p> <p>衛星データ利用した例会プログラムを実際に展開した事例を紹介しながら、受講者の方に衛星データ活用の具体を体験して頂きます。ランドサット8データや標高データを中心とします。</p> <p>苫小牧分団の分団活動で取組んだ火星の標高データも取上げます。</p>
12:20～12:25	<p><b>閉講式</b></p>

## <その他>

- 1 プログラム2では、受講される皆様の実習を想定しています。以下の材料をご用意ください。
  - ・ 紙コップ2つ（口の直径が7センチ位の物）
  - ・ たこ糸3本（各15cm位）
  - ・ セロハンテープ
  - ・ フェルトペン
  - ・ はさみ
  - ・ 定規道具などを含め、作業ができるスペースをご用意ください。
  
- 2 プログラムの3では、パソコンを使った実習を予定しています。パソコンをご用意ください。
  - ・ 使用する衛星データ分析ソフト「EISEI」は、Windows対応です。※ドットネットフレームワーク（Microsoft .NET Framework）が必要です。
  - ・ 分析ソフト、関係マニュアル、実習データ等電子データは、参加申し込み後  
データを用意しているウェブサイトのURLをお伝えしますので、事前にダウンロードし、分析ソフトはパソコンにインストール、関係マニュアル、実習データは圧縮されていますので展開（解凍）させておいてください。
  - ・ テキスト、簡易分光器等は、事前にお申込み住所に送付いたします。
  
- 3 2月6日（土）、15:30～16:30に受信確認ができます。なお、当該時間帯はYAC団員向けのオンライン講座を実施する予定です。苫小牧市科学センターの「ミール」を紹介する内容です。
  
- 4 最近オンラインセミナー受講申込の方が多く、受講申込みをお断りしているケースが多くなっています。申し訳ありません。これまでの先着順の受講希望受付を次のように変更します。1月19日10:00までに受付けた方から次のような優先順で受講確認情報をお届けします。
  - ① オンラインセミナーを初めて受講される方
  - ② ①以外の方は申込先着順で定員以内の方\*1月のオンラインセミナーから受講申込みをされいながら連絡をされずに当日受講なされなかった方には上記②の対応をいたします。  
\*受講希望の方の人数が定員に達していない場合は、随時受講を受け付けます。ウェブの案内に付記します。
  
- 5 受講確認情報をお届けする方には、事前に関係資料（セミナーテキストや各講座概要印刷配布物）やオンライン受講案内情報をお届けします。